



FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org



**世界への
プレゼントになろう**

会長：森下 敏顯 副会長：鈴木 舜光 幹事：大長 昭子 副幹事：島村 武慶

第2097回

- ソング 我等の生業
- ソングリーダー 鈴木 透君

【半夏生】

写真提供：鈴木 舜光君

会長報告

森下 敏顯君

皆さん、こんにちは、昨日は静岡産業大学に於ける冠講座の今年度最終の講座が私の次年度会長の番という事で開催、修了することが出来ました。これも各講師をされた会員の皆様、そして平委員長、全12回面倒見ていただいた担当の鈴木邦昭君のおかげです。ありがとうございました。



講義後に担当の谷口先生からのお話を披露させていただきます。『以前にも言ったようにこの冠講座はロータリーの皆さんが無報酬でお忙しい中、諸君の為に大事な時間を割いて講義してくださっています。又、それが何年にも渡っています。

少しでも社会に出てからの皆さんのお役に立てればと講義してくれた事に感謝してください。』と、又、『昨年はおそこにおられる前前会長の中央防犯の大塚社長が新人社員2名を連れてきていただきました、敬礼や挨拶等を見せていただき、あまりにもりっぱな態度に感激いたしました。後でその二人が当産業大学の卒業生と知り、就職担当の先生にその二人の事を聞いてみました、ところが(4年生迄は出席率も悪く、あまり感心する生徒ではなく、就職も心配しておりました。)という意外なお話でした。その話を聞き、短時間であのようなりっぱな態度ができるように教育、指導して下さった大塚社長様及び中央防犯という会社に敬意をあらうと共に我々、大学の教師としての力不足を認識せざるをえませんでした。』と、しみじみお話をしていました。大塚社長の中央防犯さんには

何かビッシとさせるものがあるようです。そして先生は『1, 2年後に皆さん社会に出ていきま、そこからが本当の勉強です、どうか、職業人、社会人として自分自身なつく出来る道を見つけて楽しい人生が送れようとしてください。』との結びで総括していただきました。当クラブが冠講座を開いている意味を学生さんに分かりやすく説明していただきました。谷口先生ありがとうございました。

来年度も江崎委員長の元、担当は昨日も来てくれた大塚高弘君でおこなわれます。我々も勉強になります、よろしく願いいたします。それでは、本日の会長報告は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

出席報告

櫻井 龍太君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
27/41 51.21%	37/41 90.24%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 大塚高君
- 竹田君
- 大長君
- 土屋秀君
- 平野君
- 池谷君
- 江崎晴君
- 大杉君
- 落合君
- 鈴木邦君
- 仲田晃君
- 松葉隆君
- 村松君
- 柳原君

会員卓話

パスト会長
池ノ谷 敏正君



私の会長としての一年間を振り返る機会をいただき、ありがとうございます。

まず始めに、年度初頭に立てたクラブの事業計画におきまして、どの委員会も各委員長を中心に滞りなく事業を遂行していただき、ほぼ計画通りに終了することができたことを御報告致します。

各委員会ごとに活動を振り返ってみますと、クラブ管理運営委員会におきましては、スムーズな例会運営にご努力頂きました。また、親睦の面でも大塚高弘親睦リーダーを中心に楽しい、また、珍しいイベントを企画・実行していただき、楽しませていただきました。

通常例会では、第1、第3例会を指定席としていただき、普段接触が少ないであろう若手会員とベテラン会員の交流の機会を増やしました。指定席の例会が増えたことで、普段交流のない会員とつながることができましたでしょうか。また、大塚年度より始まった「友情の握手」もその一環ととらえ、継続させていただきました。

そして、プログラム担当の村松会員には特にご努力をいただき、例年の倍近い数の外部卓話を実現していただきました。そんな努力をいただいたにもかかわらず、私から会員の皆様への卓話内容の事前広報が不十分だったため、聞き逃した会員も少なからずいたものと反省しています。

青少年委員会におきましては、平野委員長・松田リーダーのもと若手会員を中心に頑張っていたいただき、基本方針に沿った活動を一年を通して行っていただけました。

若い会員が委員長やリーダーを務めてくれることは、当の会員には大変なことでありますが、ロータリーの活動、各委員会の何たるかを、その役を通して考えていただけている良い機会ではないかと思っており、これからの彼らのさらなる活動にも期待しているところであります。

また、ロータリー財団委員会におきましては、円安傾向の中、ロータリーレートの推移に注視していただいていた結果、寄付のタイミングを例年と変更することで、寄付額の減額に尽力いただいたことは、地味な事ではありますが、特筆すべき活動成果の一つだと思います。

そして、我がクラブ初の事業となった未来の夢計画においても、計画の立案や会計処理等スムーズに事業計画の遂行をしていただきました。これが、今年度にもつながって来ており、新しい流れとなりつつあるところも嬉しい限りです。

奉仕プロジェクト委員会も基本方針通りに積

極的な活動をしていただき、冠講座の実施とともに未来の夢計画の実行に貢献いただきました。

特に未来の夢計画では、全くの手探り状態ではなかったかと思いますが、静岡産業大学との連携を密に取りながら事業を成功へと導いていただきました。さらに、クラブのホームページも有効に利用していただき、学生の論文を会員の皆様にも読んでいただけるような環境を整えていただけたことは、これからのクラブ広報やホームページの利用のヒントにもなったのではないかと思います。また、富士山清掃活動へも積極的に参加いただき、休日返上で富士山まで出向き、奉仕活動に汗を流していただいたことは、社会に向けて藤枝ロータリークラブの活動のPRにもなっているものと信じています。

最後に、会員増強委員会につきましては、年度途中で委員長の交代というアクシデントもあり、ピンチヒッターとしてその任を担っていただいた土屋富士子委員長には、会員経験も浅いにもかかわらず、女性会員の増強を期待し大変ご苦勞をお掛けました。

結果として増強目標は未達と終わってしまいましたが、土屋委員長は今年度も続投していただけていますので、期待したいところであります。

改めて振り返りますと、私の会長としての一年は本当に皆様に助けられ、支えていただいた一年であったと思います。鈴木舜光幹事を始めとして、理事・委員長そして会員皆様のお力添え有ったの私でした。改めて御礼申し上げます。

本当に一年間、ありがとうございました。



★冠講座

<開講日>

平成 27 年 7 月 14 日(火)

<講義内容>

「仕事は繋がっている」

<担当者>

(株)森下工務店

代表取締役 森竹 敏顯君



(担当/荒井君)